

第3学年 道徳学習指導案

摂津市立鳥飼北小学校
指導者

研究主題

一人ひとりの力を伸ばし、自尊感情を高め、互いに学び合える授業をめざす。
② 正しく読み取る力を育成する。
② 自尊感情を高め、道徳性を高める。

研究仮説Ⅰ

国語科の授業を中心に、「読む」「書く」についての取り組みを行うことで、正しく読みとる力がつくだろう。

研究仮説Ⅱ

道徳の授業において、系統性を持ち、すべての内容項目において取り組みを行うことで、道徳性が育まれ、自尊感情が高くなるだろう。

(1) 日時 平成29年11月21日(火) 5時間目(13:45～14:30)

(2) 学年・組 3年1組(35名)

(3) 場所 3年1組 教室

(4) 主題名 命あるものを大切にする心

(5) 内容項目 D- (18): 生命尊重

(6) 資料名 ヒキガエルとロバ(文部科学省)

(7) 主題設定の理由

① ねらいとする価値について

ヒキガエルを助けたロバの行動を見て自分を振り返るアドルフの姿を通して、命あるものをすべて大切にしようとする道徳的心情を豊かにする。

②児童の実態

本学級の児童は、男女の仲が良く、困っている友達に声をかけたり、すぐに助けたりすることができ、行動力もある。1学期の理科の学習でチョウを育てた経験から、生き物に興味があり、よく学校の登校時や休み時間にバッタやチョウ、イモムシなど生き物を教室に連れて来ては、餌を与えて大切に育てる児童がいた。しかし、「汚い」と言って世話をしなかったり、面白半分に棒でつついたりする児童もおり、命の重みを感じていないまま育てているのでは、と思わせる場面もある。どんな生き物にもかけがえのない命がある。命あるものを大切にしようとする心を育てたい。

③資料について

かけがえのない生命の重みを感じるからこそ、共に精いっぱい生きていこうという気持ちが生まれてくる。生命は一回限りのものであり、失えば二度とよみがえらせることのできないかけがえのないものである。これは、地球上のすべての生物にとって共通することである。どんな小さな生き物にも生命があり、生きようとしている。その生命は人間と同じようかけがえのないものであり尊いものであることが実感できるようにし、生命を大切にしようという心情を育てることをねらいとする。生きているとはどういうことかを3年生の児童なりに考えることが、これからの児童自身の充実した日々につながる。

(8) 本時の展開

| | 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 指導上の留意点 |
|----------|---|--|--|
| 導入 6分 | <ul style="list-style-type: none"> ・飼ったことのある、世話したことのある動物、昆虫、植物などを発表する。 | <p>《動物や植物は飼ったことがありますか。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬、猫、めだか、ウサギ、クワガタ、金魚、チョウ、ホウセンカ、ひまわり・・・ | <ul style="list-style-type: none"> ・動物などへの関心を高める活動なので、どんどん発表させ、 ①「上手にお世話できましたか」等、世話のむずかしさ ②「かわいいですか」等の感じ方を確認するための問い返しをする。 |
| 展開 6分 | <ul style="list-style-type: none"> ・範読を聞く。 ・登場人物について確認する。 | <p>《登場人物は誰ですか。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドルフ、ピエールたち、ヒキガエル、ロバ | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にゆっくり範読する。 |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・アドルフたちがヒキガエルに小石を投げつけている時の気持ちを考える。 | <p>○アドルフたちは、どのような気持ちでヒキガエルに小石を投げつけたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くどっかへ行ってしまえ。 ・気持ち悪いな。 ・やっつけてやる。 ・いじめてやれ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アドルフの興味本位な気持ちに近づける。 |
| 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ・石が足元にすべり落ちたのは、どうしてなのか考える。 | <p>◎どうして、アドルフの手から石が足元に静かにすべり落ちたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おどろいたよ。やさしいな。 <p>(補助発問)：何におどろいたのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しんどいのに助けた。 ・鞭で打たれているのに助けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手に何かがぶつかったのではなく、手からすべり落ちたことを押さえる。 ・手から力がぬける心の揺れをおさえる。 ・ヒキガエルに気づいて、悪条件のなかで |

| | | | |
|--------------------|---|--|--|
| <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 去っていくロバを見て、アドルフたちはどんなことを思ったかを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ロバなのにそんなことを思っているのか。 ・ ロバは、自分も苦しいのに小さいヒキガエルを助けている。 <p>(補助発問)：どうして助けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命を無駄にしたらあかん。 ・ 無理やり死なさなくていい。 ・ 生き物をいじめたらだめ。 ・ 苦しそうだから。 ・ やさしいから。 <p>○アドルフたちは遠く去っていくロバを見ていて、心の中でどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロバなのに。 ・ ロバは、衰えてしんどいのに、それで力を振り絞りよけて命を助けた。 ・ ロバみたいにやさしくなろう。 ・ おもしろ半分にして悪かった。 ・ ひかれるのが面白いと思っている自分が情けない。 ・ これからは、生き物を大切にしよう。 ・ 二度としないよ。 ・ どの生き物にも命があるんだ。 | <p>も、荷車の進路を変えようとしたロバの行為に着目させる。</p> |
| <p>まとめ 10分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の話合いで、感じたこと、考えたことを書き、発表する。 | <p>≪今日の授業で思ったこと、自分だったらどうするかをふりかえりに書きましよう。≫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ ロバの行動から、自分たちの行動を振り返るアドルフたちの考えに共感させたい。 ・ 生きているものには、みんな命があることに気づかせたい。 |

板書計画

The storyboard consists of three panels, each with a blue rectangular box at the bottom. Each panel contains an orange speech bubble with a tail pointing to the box. The first panel has a vertical text box to its right. The second panel has a vertical text box to its right. The third panel has a vertical text box to its right and a horizontal text box above it. The horizontal text box contains three blue rectangular boxes.

ひきがえる とろば

ひきがえる

ろば

ピエールたち

アドルフたちが、石をぶつけている時は
どんな気持ちだったでしょう

どうしてアドルフの手から石が落ちたのでしょうか

アドルフたちは遠く去っていくロバを見て、
どんなことを思ったでしょう